

教育広報

かけはし

第8号 平成5年3月18日発行
発行 千代田区教育委員会



“さようなら、また会いましょう”（国際交流、錦華小）

主
な
記
事

- ☆新たな学校の発足に向けて
- ☆思い出多い学び舎
- ☆寒稽古の成果を大会に
—千代田区立中学校武道大会—
- ☆子どもの意欲的な活動
—スキー講習会、絵画教室—
- ☆春、軽井沢の自然の中へ
—「メレーズ軽井沢」オープン—
- ☆施設だより“鎌倉臨海学園”

錦華小学校は、渋谷にあるプリ
ティッシュ・スクールと交流を続
けています。

1月14日には、イギリスのお友
達が錦華小学校を訪れ、玉入れ、
羽根つき、折り紙、けん玉などを
楽しみ、給食と一緒に食べました。

*教育広報「かけはし」は資源保護の
ため再生紙を使用しています。

新たな学校の発足に向けて

千代田区立の小学校・幼稚園は、本年四月、新たな八つの小学校・幼稚園としてスタートします。

これまで区立の十四の小学校・幼稚園は、長年にわたり優れた教育成果をあげ、数多くの人材を世に送り出してきました。ここで培われてきた教育理念や実績を大切に引き継ぎ、「新たな学校」を円滑にスタートさせるため、各校(園)では、この一年余りの間、教育委員会と密接な連携を図りながら、きめ細かに準備を進めてきました。

豊かな人間関係づくり

「平成五年四月の始業式の日から、子どもたちがスムーズに活動を始められることができるようにしたい。」というのが、学校関係者の願いです。

そのために、本年度の当初から、一緒にいる学校(園)の子どもたちが交流する機会を設け、顔みしりになり、声を掛け合い、行動を共にするような場を設けるように計画的に進めてきました。

小学校では、展覧会や学芸会、学校祭りに招待し合ったり、校外学習や演劇教室、スポーツ大会などを合同で開催したり、箱根高原学校や鎌倉臨海学園で共同生活をしたりしました。

また、年間を通して合同で、四年生以上のクラブ活動を実施したり、三年生も参加してクラブ発表会を開催したりしたところもあります。



富士風穴の学習も一緒に

このように、子どもたちは交流を重ねるにつれて、協力して新たな学校をつくっていくという意識を高めてきています。



夏祭りに招待

校内の体制づくり

新たな学校において、これまでの千代田区における教育実績を基盤にして、より充実した教育を推進するためには、綿密な教育計画、環境整備が必要です。また、これまでの成果を示す教育的財産をどのように保存し活用するかも重要な課題です。

そこで、各校(園)では、「新たな学校」単位の整備推進委員会を組織し、平成五年度の教育目標の設定、年間計画や運営組織の作成、生活指導や学校保健に関する計画立案、校内の資産や文書の保管や活用、施設や設備の整備にあたってきました。



教育方針や方法等について話し合う整備推進委員会

楽しかったクラブ

五年 井出 法伴

僕は、今川小学校の人達と一緒に球技クラブに入って、一学期はラケットベース、二学期はソフトボール、三学期はサッカーをしました。

一学期は慣れなかつたので、お互いになかなか話しかけることができませんでした。でも、二学期になると、今川小学校の人達も僕達に話しかけてくれたし、僕達からも話しかけました。

こうやって気楽に話ができるようになったのは、夏に一緒に行った箱根のおかげだと思います。箱根で交流会をしたときは、とても仲良くできたからです。

それに、今川小学校の人達に驚かされた事がありました。それは、ラケットベース、ソフトボール、サッカーのどれもが上手だったことです。

今川小学校の人は、他のクラブにもたくさんいるので、四月になったら、その人達とも仲良くしていきたいと思っています。

(佐久間 小学校)



また、教育委員会では、各校(園)と絶えず連絡を取りながら、各部署が分担して、校舎や設備の整備、学級編制や教職員の配置、閉校や開校に関する諸準備等を進めてきました。

四月の開校までには、すべての準備を整え、子どもたちが、晴れやかな気持ちで充実した教育を受けることができるようにしたいと努力しています。

「新たな学校」の校名について

昨年の第四回区議会定例会において、学校設置条例の改正がなされました。

そのうち、「新たな学校」の校名につきましても、今回の決定に至る経過を踏まえ、各地域の協議結果を地域の総意として最大限尊重する立場、区議会における審議の経緯、さらに、今後の公適配構想の円滑な推進にも配慮する中で、一昨年十一月に発行した「かけし号外」でお示した、現在の校名は使わない」という原則を変更することとなり、去る二月十六日に、各協議会長にその旨お知らせし、現在、各地域ごとに再協議をお願いしているところです。

なお、このたびの原則の一部変更に関しまして、各地域にご迷惑をおかけしたことを深くお詫言申し上げます。



整備が進められている国際理解教室(富士見小)



増築された園舎(錦華幼)



思い出多い学び舎

千代田区立の小学校十四校、幼稚園十四園は、間もなく学校の歴史にひとつの節目を迎えることとなります。

文部省直轄の小学校としてスタートした学校、江戸時代の家塾を前身とする学校、数回にわたり校名変更が行われた学校など、様々な変遷を乗り越えて今日に至りました。

歴史の長さは、学校(園)によって異なりますが、どの学校(園)も、日本の教育の先導的な役割を果たしてきました。

① 創立年月日 ② 卒業(修了)者総数 ③ 学校(園)の特色



③ ② ①
番町小学校
 明治三年六月十二日
 一八、三五七名
 「空しい子」「元気な子」
 「考える子」をめぐして、子どもたちが意欲的に学校生活を送っている。

③ ② ①
番町幼稚園
 明治二十七年十一月二十二日
 三、七二五名
 よく考えて動く子、じょうぶで元気な子、明るく思いやる子をめぐして、楽しくのびのびと過ごしている。



③ ② ①
麹町小学校
 明治八年五月
 一一、一五二名
 菊と桐の校章が誇り高い歴史を語る。
 体力づくり、健康づくりの伝統が息づく。
 「胸の記章は白、菊、元気な子どものびのびと豊かな心を自ら育む麹町の子。」



③ ② ①
富士見小学校
 明治十年四月十五日
 一八、九八三名
 富士のように美しく、おおらかにでなくましい子。
 一人一人鉢藪づくり、自然や生命を大切に作るやさしい子。

③ ② ①
富士見幼稚園
 明治二十年四月十五日
 七、六六一名
 園庭で元気に泥んこ遊びや芋づくり。草むらでうさぎや虫と仲よくする子。
 いつもがんばる富士見のよい子。



③ ② ①
九段小学校
 明治三十六年三月三日
 七、一五五名
 努力すれば花開く！
 夢と希望と勇気を大切にする九段の子。

③ ② ①
九段幼稚園
 昭和五年四月一日
 二、五九〇名
 さくらの九段、くすの木九段、美しい自然に感動し、大きな樹木のように伸びやかに育つ九段の子。



③ ② ①
錦華小学校
 明治六年五月三日
 一五、四〇二名
 「よく考える子ども、思いやりのある子ども、じょうぶな子ども」を守って学校生活がすめられている。

③ ② ①
錦華幼稚園
 昭和二十三年四月一日
 二、七九一名
 個の充実・心情面の育成・社会性の育成等を教育方針として、三年保育を実施している。



③ ② ①
永田町小学校
 明治四十一年六月十日
 九、〇五四名
 国際社会で活躍できる紳士・淑女を育てる。
 「元気でやれば何でもできる」

③ ② ①
永田町幼稚園
 昭和十三年四月一日
 二、八五〇名
 春のよもぎ、夏の杏、秋の姫りんご、冬の小松菜、四季の虫たち。三角畑の恵みを受けて、一人一人が心豊かに。



③ ② ①
淡路小学校
 明治八年十一月四日
 八、九六二名
 家族的な雰囲気、素直で思いやりのある子どものいる学校。あたたかさやすらぎのある学校。

③ ② ①
淡路幼稚園
 昭和六年九月五日
 二、一六四名
 明るい顔が溢れる。心と心が触れ合って、遊びがたっさん湧いてくる。
 素直な子どもが自慢です。



神田小学校
 明治九年三月十五日
 一五、一四本名

長い歴史に培われた明朗・誠実の神田魂を受け継ぎ、日本を愛し、世界で活躍できる力がついた子どもたち。

神田幼稚園

③ ② ①
 昭和六年九月五日
 四、一〇三名
 校庭に高くそびえる銀杏と、かわいらしいササギのミミを見て育つ神田っ子は、元気で仲良く心豊かです。



千桜小学校
 明治十五年十月十八日
 一〇、九七五名

江戸桜ヶ丘（お玉ヶ池）は右文尚武の地。その伝統を受け継いで、瀟々気高くとましく生きる人間を育てる。

千桜幼稚園

③ ② ①
 昭和八年九月一日
 二、二二一名
 桜の花のように明るく、やさしい子どもを育てる。「一つ一つの蕾が集まって、満開の大樹に育つ子どもたち」



小川小学校

③ ② ①
 明治三十二年三月三十一日
 八、六七六名

堅実な学習指導と、豊かな情感を育む創意ある諸活動で育つ小川っ子。地域の熱き想いに満ちた「清き小川」は、心の故郷。

小川幼稚園

③ ② ①
 昭和六年七月十五日
 二、六七一名
 花を育て野菜を作り、この身近な自然とのかかわりで、一人一人の「個性の生きる生活」を大切に。



西神田小学校

③ ② ①
 明治三十六年九月二十日
 一〇、八九五名

人情にあつく、明朗そ人とよく協力し、自分を飾らない「神田っ子」のよさを持った子どもを育てる。

西神田幼稚園

③ ② ①
 昭和二十一年四月八日
 二、四七〇名
 お陽さまいっぱい保育室。四季の自然に、直接触れる園外保育。心も身体も、豊かに育つ西神田っ子たち。

入学式

三年 牧野安希子

わたしは、小川小学校で一番心のこつたことは、入学式です。学校で、さいしょに友だちになつたのは、ゆきちゃんでした。

入学式の時、

「友だち、できるかなあ。」

と思つたのに、できてよかったです。それからずつとつとつと、友だちが多くなりました。だんだん学校のことわかつてきました。先生といつしよに、楽しくべんきようをしたり、遠足へ行つたりして楽しかったです。とくに遠足に行つたことが楽しかったです。これからも、今までの友だちとが、新しい友だちと、なかよくしたいと思ひます。

(小川小学校)



▲入学式で担任の先生が名前を呼んでくれました



▲自分たちが作ったもので楽しく遊びました

**楽しかった
神田小夏祭り**

三年 船橋 由路

神田小学校では、楽しいことがたくさんありました。その中でも、ぼくが一番心のこつた思い出は、神田小夏祭りです。そのお祭りは、各クラスでどんなゲームをするかなどを決めて、そのゲームをお客、つまり、他のクラスの人にやらせてあげるといふおもしろいお祭りです。

でも、学校が合へいして、お祭りができなくなるのは、ちよつと悲しいです。だから、新しい学校でも、こつたお祭りができるようになつてほしいと思ひます。新しい学校でも、いっしょけんめい勉強し、たくさんお友だちをつくつて、仲よく楽しくすごしたいと思つています。

(神田小学校)

最後の作品展

四年 奥蘭 美緒

私は、今年の作品展はなんだかちよつとちがう感じがしました。それはだぶん、淡路小学校最後の作品展になるからだと思います。だから、この前の作品展よりすごいと思ひました。特にすごかつたのは、みんなで作つた恐竜でした。頭・どう・足などみんなで分たんして作りました。最後は六年生がきれいにしあげてくれました。みんなで協力して作つただけあつてすこよくできたと思ひます。思い出に残る作品展になつて

よかつたです。

淡路小学校

校がなくなるのはちよつとさびしいけれど、芳林小学校の人といつしよになるのも楽しみです。

(淡路小学校)



今川小学校

③ ② ①
 明治四十一年四月一日
 八、四二七名

「思いやりの心を持ち、みんな仲よいです。」これが日本一と自慢できる今川の宝です。

今川幼稚園

③ ② ①
 昭和七年四月一日
 二、四三四名
 一人一人の個性を伸ばし、人間性豊かなたくましい今川の子どもを育てる。「幼稚園大好き、友達大好き」



芳林小学校

- ① 明治四十三年二月二十五日
- ② 六、九九八名
- ③ 「地域の子どもは地域の大人が育てる」人情味豊かな神田っ子の気質を子どもたちに受け継ぎ、深い郷土愛を培っている。

芳林幼稚園

- ① 昭和六年九月一日
- ② 三、一五二名
- ③ 下町の人情味豊かな中で「地域の人々の深い愛」に支えられている。個性を生かし、たくましい幼児を育てる。

佐久間小学校

- ① 明治三十五年十一月九日
- ② 七、八〇九名
- ③ 年間を通して温水プールで体を鍛え、学ぶ意欲を育てる。「地域の子どもとして、明るくのびのびと育つ」

佐久間幼稚園

- ① 昭和九年四月一日
- ② 一、七九一名
- ③ 神田のいぶきを受け継いで、一人一人の個性を伸ばし、健康でたくましい子どもを育てる。「元気でやさしい佐久間っ子」

寒稽古の成果を大会に

千代田区立中学校武道大会

平成四年度中学校武道大会は、平成五年二月四日(木)、区立総合体育館において、中学校一、二年生の選手が参加して行われました。

剣道は、男女の団体戦と、学年別の個人戦が行われました。小学生のころから練習を積んできた生徒も多く、礼儀・作法を心得た、気迫のこもった試合運びでした。



▲女流剣士の卵も大活躍

柔道は、女子の参加はなく、男子の団体と、学年別の個人戦が行われました。立ち技で一本が取れるほどの技の切れや力量の差はなく、優勢や効果、

押さえ込み一本で勝敗が決まっていた。それだけに体力の差がものよいです。一年間の努力の積み上げと、寒稽古の成果が表れた試合でした。各種目の優勝者は次の通りです。

- 剣道** 団体男子 一橋中Bチーム
高橋 聡、鈴木 哲也
勝間 健介、徳永 将幸
小林 祥希
- 団体女子 今川中チーム
小西加津奈、宮本 里絵
石井久美子、吉沢 美香
阿部真希子
- 柔道** 個人二年 品川 隆(九段)
個人一年 高橋 聡(二橋)
松苗 崇徳
内藤 猛、小島 徹
関屋 景、梅澤 宏輔
松苗 崇徳
- 個人二年 松苗 崇徳(二橋)
個人一年 関屋 景(二橋)



楽しかった スキー講習会

お正月の恒例となっているスキー講習会が、今年も1月2日から5日間にわたって、志賀高原熊の湯スキー場で行われました。ちよっぴり不安な気持ちで初めて参加した子ども、去年に続いて参加した子ども、みんなそれぞれに上達し、楽しい思い出ができました。来年はあなたも仲間に入ってみませんか。

来て良かったスキー

五年 鈴鹿 麻菜

私はスキーに行くのは一回目でした。はじめは友達ができるか不安でいっぱいでしたが、みんなやさしくて、すぐ友達になれたので本当によかったです。

午後の講習で、熊の湯へ来て初めてリフトに乗りました。リフトから見ると木は雪でまっ白。ひと言では言いきれないほどきれいでした。上に行ってみると、すごく急な斜面をすべるということなので、リフトでもどりたいなと思いました。

でも、先生は、「ゆつくりすれば大丈夫だよ。」と言ってくださったので、少し安心しました。すべてしてみると、アイスバーンや新雪なので、足をハの字にしてもズルズルと落ちてしまったり、ころんだりして一苦労でした。けれど、みんなと一緒ですべていってしまつので、ついていきました。やってみると、けっこうこぼすはずにすべれました。これからも一生懸命練習して、上達したいと思います。このスキー講習会に来て、本当に良かったと思います。

(芳林小学校)



▲“ここは、どんな色がいい?”

楽しいんだな これが! 親子絵画教室

2月の休業土曜日にあたる13日、千代田区文化協会絵画部門の協力により、絵はがきづくりを目的とした写生会が行なわれました。場所は、東京駅丸の内南口。ポカポカ陽気の中、思い思いの画材で写生開始。「どんなふうを描いた?」と、カンニング気味のお父さんや、「写生会なんて何年ぶりかしら」というお母さんといっしょに、特製絵はがきができあがりました。「熱い視線に照れたのかな。レンガ色の駅舎がいつもより赤く見えたね」とは先生の話。



▲“細くなりすぎ”に、ワンポイントアドバイス



▲絵はがきは、東京中央郵便局からおばあちゃんと転校した友だちへ



施設だより 鎌倉臨海学園

区立鎌倉臨海学園は、歴史と避暑、避寒の地として有名な、神奈川県鎌倉市材木座にあり、ます。

初め夏季だけの施設として利用していたものを、昭和九年に常設の養護学園としました。町の北側には台地、南側には海が広がり、一年中気候が温暖で、海水浴のシーズンを除き、自然と文化に恵まれた静かな町です。



▲きめ細かい指導が行われます

◎健康増進のために

この恵まれた環境を生かして、区内の小学校に在学する三年以上の体の弱い子、ぜん息の子、痩せすぎ・肥満すぎの子、偏食の激しい子どもを対象として、全寮制の学園が開かれています。

起床から就寝まで、規則正しい集団生活を通して自律的な態度を培うと共に、体を鍛えています。

学習は、区内小学校と同じ教科書を使って行われています。八教科、道徳、特別活動の外に、体を鍛えて諸機能を整える時間があります。学校が終わって寮に帰ると、保母さんが母親代わりです。

土曜日の午後や日曜日・祝日には、釣りや海岸での遊び、ハイキングや史跡めぐりなどを楽しんでいます。



▲海岸も私たちの体力づくりの場です

◎入園するには

この学園に入園するには、親と担任の先生が話し合い、現在通学している学校に「入園申込書」を提出します。

その申込書に基づいて教育委員会が審査し、入園が許可されます。原則的には、四月に入園して、一年間の学園生活を送ることになります。途中の入園・退園もできます。また、学園生活を体験したい人のために、学園見学や、一、二週間の仮入園もできます。

問合せ先

教育委員会学務課学務係

☎(044)0151-0151 内3151



▲砂浜でひと休み、これから何を作ろうかな

◎夏休み中は

学園の子どもたちは、夏休みや冬休みなどの長期休業中は、各家庭に帰って、家族と共に生活します。

施設の空いている夏休みを利用して、区内の四年生を対象として、夏季施設「鎌倉臨海学園」が開設されます。小学生として初めての宿泊をともなった集団生活です。

二泊三日の生活の中で、水泳を中心として、砂遊び、すいか割り、ポイント遊び、海岸散歩、星の学習、お楽しみ会など、様々な体験をします。

起床・食事・入浴・就寝と、友達と一日中生活を共にした経験は、子どもたちにとって、一生の思い出になっています。



メリーズ軽井沢 4月27日オープン!

(軽井沢少年自然の家第2期施設)

が4棟あり、その中央には、研修をはじめさまざまなレクリエーションに活用できる多目的スペースをもつパブリック棟(管理棟)を設けました。

この「メリーズ軽井沢」が、家族

「軽井沢少年自然の家」の第2期施設「メリーズ軽井沢」が、いよいよよ来る4月27日(火)にオープンします。この施設は、中学生の移動教室や夏季施設でおなじみの「軽井沢少年自然の家」の向い側に建設を進めていたもので、JR

水いらずの保養に、また気のあつた仲間同志でのさまざまな活動にと、皆さんにいつまでも親しんでいただける施設になるよう願っています。

利用できる方

千代田区内に在住

または在勤・在学している方

申込方法

千代田市など他の保養施設と同様に、利用したい月の2か月前の1～8日の間に、専用のハガキで申し込んでください。(ハガキは、区役所区民課、各出張所、ちよだパークサイドプラザ等においてあります。ハガキによる当選者受付ののち、空室があれば22日より電話または区民課窓口で予約を受け付けます。

4月27日(火)～6月30日(木)までの利用につきましては、4月1日(木)～8日(木)(必着)にハガキによる申込を受け付け、4月22日(木)から空室の受け付けをします。

問合せ先

区民課保養施設係(区役所3階)
☎(044)0151-0151 内3168

メリーズ軽井沢利用料金

使用区分	コテージAタイプ (定員8名)	コテージBタイプ (定員7名)	パブリック棟 宿泊室Aタイプ (定員5名)	パブリック棟 宿泊室Bタイプ (定員4名)
室料(1泊)	10,000円	9,000円	5,000円	4,000円
宿泊料	(1泊1人あたり) 中学生以下 950円、その他 1,900円			
食事代	2食(朝・夕食) 1,800円			
休憩料	(1人1回あたり) 中学生以下 100円、その他 200円			

1泊あたりの利用料金は
「室料+(宿泊料+食事代)×人数」で計算します。



別荘感覚のすてきな施設が
皆さんをお待ちしています

図書館からお知らせ

◎千代田図書館の臨時休館
図書館業務の電算化作業等のため、3月16日(火)から4月12日(月)まで休館します。休館中は資料の閲覧や、貸出しはできませんが、3階閲覧室は使用できます。

◎区立図書館のオンライン化完成
4月13日(火)から全館のオンラインが稼働し、次のように図書館サービスが改善されます。

- ①図書や資料の貸出冊(点)数が増えます。(図書5冊・AV資料4点まで)
 - ②貸出券は全館共通となります。
 - ③どの図書館からも、全館の図書資料を自分で検索でき、予約すれば他の館にある図書資料も借りられます。
- このほか、貸出手続きが簡単になるなど、より利用しやすくなります。

新しい貸出券の申込受付中

現在4月13日(火)から使用する新しい貸出券の申込を受け付けています。申込の際は、氏名・住所・連絡先を確認できるもの(健康保険証・運転免許証等)をお持ちください。

なお、詳しくは左記にお問合せ下さい。

千代田図書館 3264-0151
四番町図書館 3239-6357
ちよだパークサイドプラザ 3864-8931

随想

きょういく

☆ 新しい友達

・幼稚園の時の友達がいた。
 ・また一緒にになれるのが楽しい。
 ・毎日、駅で会う子がいた。
 何となく「こんにちは」と言えた。

・塾で会う子が何人もいた。今年から一緒にがんばらなくちゃ。
 ・いよいよ出番、西神田の子が「がんばろうね」と言ってくれた。
 ・すぐに十人の小川の子と仲良くなった。給食ではもつと友達が増えた。
 ・連合陸上競技大会では競争相手だつたけれど、きょうは味方同士でやれてよかった。

・西神田の三校は、児童・教職員が一堂に会して、「新たな学校」へ向けての交流会を催しました。この子どもたちの声は、その時の本校児童の感想の一端です。「三校交流スポーツ大会」と銘打ったこの会は、まず校庭でミニ運動会、終了後は校庭一ぱいに広がってのふれあい給食、そして校舎内入室してからの避難訓練と、三つの大きな内容を盛り込んだものでした。このことは事前に各家庭にも連絡し、当日は百人前後の

保護者にも参観していただきました。
 ☆ 綿密な計画の下に

区内の各学校(園)でもそうですが、錦華・小川・西神田の三校でも、今年度当初から「整備推進委員会」を合同で組織して、新たな学校づくりに向けての対応を検討しています。



新たな学校へ向けて

長 小学校長 錦 華
 同 幼稚園長 同
 丸 山 信 男

この委員会には、教務・生活指導・研究・保健・学校事務・幼稚園の六つの部会があり、全教員がどれかに所属して、それぞれの分野での課題を検討、整理し、当該学校間で処理できるもの、区に要望するものと、それぞれの対応を図ります。先の「交

流会」は、その中の教務担当で企画、立案、実施されたものです。

巷間では、学校が統合になると「いじめ」が「事故」が、と危ぐの場面のみが想定され、懸念の声が聞かれます。整備推進委員会は、当初からこのことを最大課題として取り組み、その対応策を常に念頭に置いてきました。交流会はその一つです。

☆ 子どもを信頼して

子どものもつ順応性の早さは、大人以上です。学校統合を経験した校長の「案ずるのは大人だけ、子どもとのけ込み方は想像以上」との言葉を思い出します。冒頭に挙げた子どもの声は、それを象徴しています。大人が心配しすぎると子どもの「やる気」を停滞させ、時には後退させます。子どものやる気を助長し発展させる雰囲気づくりが、大人の何よりの役目だと思います。

新たな学校の出発が目前です。学校・地域・家庭・行政の一体感が、その実を上げると確信します。

まるやま のぶお

区立小学校長会長
 区立幼稚園長会長

編集後記

寒暖が目まぐるしく変化した冬も過ぎ去り、ようやく春の日差しを肌で実感できるころとなりました。

この年度末は、例年とは違った感慨をもって迎えられた方も多いと思います。

第八号は、小学校・幼稚園の新たな発足にあたっての特集としました。その記事の中の、各校(園)の創立年月日は、学校(園)の沿革史の表記に合わせました。従って、開校式の日や、学校設立の許認可年月日と異なるものもあります。

平成5年度も、学校・家庭・地域と教育委員会の「かけはし」になるよう、内容の一層の充実を図ってきたいと考えています。

「かけはし」についての皆様のご意見・ご感想・ご要望をぜひお寄せください。お待ちしております。

教育広報「かけはし」第八号
 平成5年3月18日発行
 編集発行/千代田区教育委員会
 102 千代田区九段南1-6-11
 ☎(03)264-0151 内3114

わちんこ

随想